キャラクター名
織戸 優志（オリト マサシ）

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー サラマンダー	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16歳	性別	男
覚醒	無知	衝動	妄想	初期侵食率	35 %
出自	天涯孤独	経験	裏切られた	邂逅	幼馴染み

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	0	1	0			1
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	30
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	9		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：原初の子	P	N		
ＲＥＣ：ｱﾙﾌﾚｯﾄﾞ･J･ｺｰﾄﾞｳｪﾙ	P 慕情	N 恐怖		
二絵 来栖	P 好意	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動成功	-	
効果：	行動消費せずカバーリング							
コンセントレイト	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	CL-Ｌｖ							
ブリザードブレス	1	3	メジャー	視界	範囲（選択）	対決	-	
効果：	攻撃力+Lv。ダイス-3個							
結合崩壊	5	4	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果：	ダイス+Lv個。装甲無視							
絶対零度	5	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果：	暴走時、[精神]の判定ダイス+[Lv+1]個。基礎浸食率+3							
紅蓮の憎悪	5	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果：	バステを受けている間、攻撃力+[Lv×3],基礎浸食率+3							
バーニングハート	1	2	オート	至近	自身	自動成功	-	
効果：	ダメージを受けた時、攻撃力+[Lv×2],暴走							
快適室温	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動成功	-	
効果：	室温を快適にする。日々の健康や平穏、活力と長寿の効果あり							
熱感知知覚	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果：	熱を視覚として知覚する。RC判定							
自動体温	★	-	メジャー	至近	自身	自動成功	-	
効果：	自分の体温を調整し、軽作業や思考の集中力を高める。疲労しにくい							
効果：								
効果：								
効果：								

[設定]
　一般家庭に生まれ、生後2か月でオーヴァードに覚醒。オーヴァードの力を恐れた両親は優志を捨てた。そこにコードウェル博士が通りがかり、優志を拾い育ててくれた。その時に一緒に居たのがレリア・ジュリー。彼女はコードウェル博士にとても懐いていた。そのためコードウェル博士の死の報告に狼狽し、泣きじゃくった。だが、コードウェル博士の生存報告を受け、FHという敵対組織に博士が移ったことも聞いて、彼女は何の迷いもなくFHに行った。そのときレリアは優志の手をとり、一緒に連れて行こうとしたが優志はその手を振り払った。レリアは悲しい顔をしながらUGNを去っていった。優志は喜べなかったのだ。コードウェル博士の復活を・・・むしろ、優志は恐れたのだ。それからというものよく考えてしまう。「自分は何者なのか？」と。恩人を恐れ、親しき者の手を振り払ってまで自分は何故UGNに固執するのかと。固執？いや、ただ臆病なだけなのかと。幼い頃から優志は少し大人びていた・・・そのため、ただ自分を拾ってくれた人、自分を頼ってくれる人と一緒に居たいという感情に従うことができなかった。

　UGNで訓練を受けしばらくはとある支部のエージェント兼支部長の秘書として活躍していたが、ある日レリアと再会することになる。レリアと交戦することになったが、優志はレリアを見て悔悟の感情が強く出てしまい動けなかった。レリアは優志を見ても攻撃をせず、ただこういった
「そんなに辛そうにしてまで・・・どうしてUGNに居続けるんですか？」
その答えを未だ見つける事の出来ていない優志はその問いには沈黙で答えるしかできなかった
俯き黙り込む優志にレリアは
「私は・・・・・待っています。”マスターレイス08（シータ）”」
とだけ言って去っていった。
「違う・・・」
「俺を・・・その名で呼ぶな」

それから少しして、中学生の時に交通事故に巻き込まれ覚醒し暴走してしまったニ絵 来栖を保護した。優志が保護をしたというのもあり、来栖の訓練は優志が受け持つようになり、クラスでも気にかけるようにしていた。だが、普段から理屈っぽく生きてきた自分が彼女を元気づける事なんてできるはずもなく、ならばせめて彼女がレネゲイドなんてものを忘れれるくらい明るく接しようと考え、優志はそれから表の顔は道化を演じるようになった。そして高校で来栖がアカデミア